

2026年6月

JPFP生命の安全教育PT公開シンポジウムを開催

国際人口問題議員懇談会（JPFP）生命の安全教育を考えるプロジェクトチーム（PT）は、6月16日、アジア人口・開発協会（APDA）及びプラン・インターナショナル・ジャパンとの共催により、公開シンポジウム「SNSは禁止で解決するのか？～当事者である子ども・若者と考えるデジタル時代の安全～」を都内及びオンラインで開催しました。国会議員、高校生・大学生をはじめ、文部科学省、こども家庭庁、Meta日本法人、専門家など、多様な関係者が一堂に会し、デジタル時代における子ども・若者の安全について議論を行いました。

冒頭、兵庫県立大学の竹内和雄教授が「子ども・若者とSNSのリアルデータと当事者の声から考える」と題して基調講演を行い、SNS利用をめぐる国内外の議論や、SNSやインターネットが日常生活に不可欠な存在となっている現状について紹介しました。その上で、デジタル社会において、子ども・若者の安全をどのように確保していくべきかについて問題提起がなされました。続くパネルディスカッションでは、「禁止だけで解決するのか」という視点から、情報へのアクセスと安全の両立、プラットフォーム事業者の責任、メディアリテラシー教育、「生命（いのち）の安全教育」の役割などについて活発な意見交換が行われました。高校生・大学生の参加者は、教師、保護者、企業、国・自治体等に向けた提言を発表し、「SNSを知らないまま指導しないでほしい」「依存性の高いアプリや仕組みを見直してほしい」「行政には現在のSNS事情を十分理解した上で政策を検討してほしい」など、当事者の視点を政策や教育に反映してほしいとの意見が示されました。



IPPF新事務局長初来日

国際人口問題議員懇談会（JPFP）の50年以上にわたるパートナー機関である国際家族計画連盟（IPPF）では、今年3月、マリア・アントニエタ・アルカルデ・カストロ氏が新たに事務局長に就任しました。5月には就任後初めて来日し、黄川田仁志内閣府特命担当大臣、国光あやの外務副大臣、逢沢一郎JPFP会長代行をはじめ、JPFP役員らと会談を行いました。



トルクメニスタンでジェンダーに関する会議を開催

3月26日、トルクメニスタン・アシガバートにおいて、アジア人口・開発協会（APDA; JPFP事務局）と人口と開発に関するアジア議員フォーラム（AFPPD）は、ジェンダー平等の推進とジェンダーに基づく暴力（GBV）の根絶に向けた地域間議員会議を開催しました。

[詳しくはこちら](#)

JPFP

国際人口問題議員懇談会（JPFP）は、1974年に設立された世界で最も長い歴史を持つ人口・開発問題に関する超党派議連です。JPFPは、APDAと一体となって、人口・開発に関する議員ネットワークを作り、多様な知見や経験を共有し、具体的な成果につなげてきました。

[詳しくはこちら](#)

APDA

公益財団法人アジア人口・開発協会（APDA）は、1982年の設立以来、JPFPの事務局を務めています。

[詳しくはこちら](#)

本ニュースレターは、国際家族計画連盟（IPPF）並びに賛助会員の方々のご支援を受けて発行しています。

JPFPご入会を希望される場合は、apda@apda.jpまでご連絡下さいますようお願い申し上げます。



♥ 寄附・賛助金のお願い

APDAは「紺綬褒章」の公益団体に認定されています。
紺綬褒章は、認定された公益法人等に公益のために
私財を寄附された個人や法人に授与されます。

DONATE NOW

国際人口問題議員懇談会（JPFP）事務局
公益財団法人アジア人口・開発協会（APDA）

〒105-0003東京都港区西新橋2-19-5-8F

TEL: 03-5405-8844 FAX: 03-5405-8845

E-mail: apda@apda.jp Website: <https://www.apda.jp/>

【編集責任：APDA】



Designed with BEE